

科目名	EU論	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	臼井 陽一郎		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する		関連するディプロマポリシー		
ナンバリング	X-21-B-3-350016		国際学部A：グローバルな課題に批判的な問題意識をもち、国境を超えた個別具体的問題への認識を深める国際教養および研究手法を体得していること		
授業の目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. EUの歴史や制度や政策のあり方について理解を深めること。 2. その理解を基礎にEUの対外行動を見る視点を手にすること。 3. その視点からEUの今を批判的に考察できるようになること。 				
学修到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. EUの歴史、制度、政策について基本的な理解を得ること。 2. その理解をベースにEUの政治の特質について批判的に考察するための知見を得ること。 3. EUというヨーロッパ統合の成果の、光と影を鋭く対比させる認識方法を獲得すること。 				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	EUについて語るとき、語られること。対照的なイメージについて。
第2回	EUの存在の目的について。
第3回	EUが歩んできた歴史。法の発展という視点から。

第4回	EUを動かす機関について。EU1とEU2に分けてみる。
第5回	欧州委員会、ヨーロッパの利益を追求するテクノクラシー。
第6回	欧州理事会・EU理事会、史上もっとも成功した政府間組織。
第7回	欧州議会、5億人のトランスナショナル・デモクラシーを求めて。
第8回	EU司法裁判所、法の帝国の建設へ
第9回	共同体方式、ヨーロッパ統合の偉大なる達成として。
第10回	EUの予算、中進国なみの規模で7年計画。
第11回	EUの政策、国家のように広がる行動領域。
第12回	EU政治の特徴。規制政治と分配政治。
第13回	EUの対外行動の特徴①

第14回	EUの対外行動の特徴②
第15回	EUのこれから。授業のまとめ。
第16回	レポート提出

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	授業で指示した内容について。2時間。
【復習】時間・内容	授業で学習した内容について。2時間。

成績評価	
評価基準・方法	学期末レポート・30%+毎回の授業要約コメント400字課題（毎回の授業中に提出）・70%
フィードバック方法	毎回のコメントカードおよび学期末レポートについて、適宜、講評する。

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	
教科書/参考書	臼井陽一郎編著『変わりゆくEU—永遠平和のプロジェクトのゆくえ』明石書店。 坂井一成・八十田博人編著『よくわかるEU政治』ミネルヴァ書房。
受講上の留意点等	関連科目に現代ヨーロッパ論・地域統合論・国際法・国際組織論がある。事前にもしくは平行して受講するようにしてほしい。
JABEE	